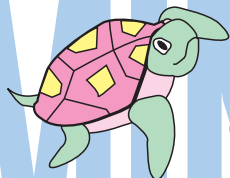


# MINAMATA

みなまた  
市議会だより



第69号

平成28年7月15日

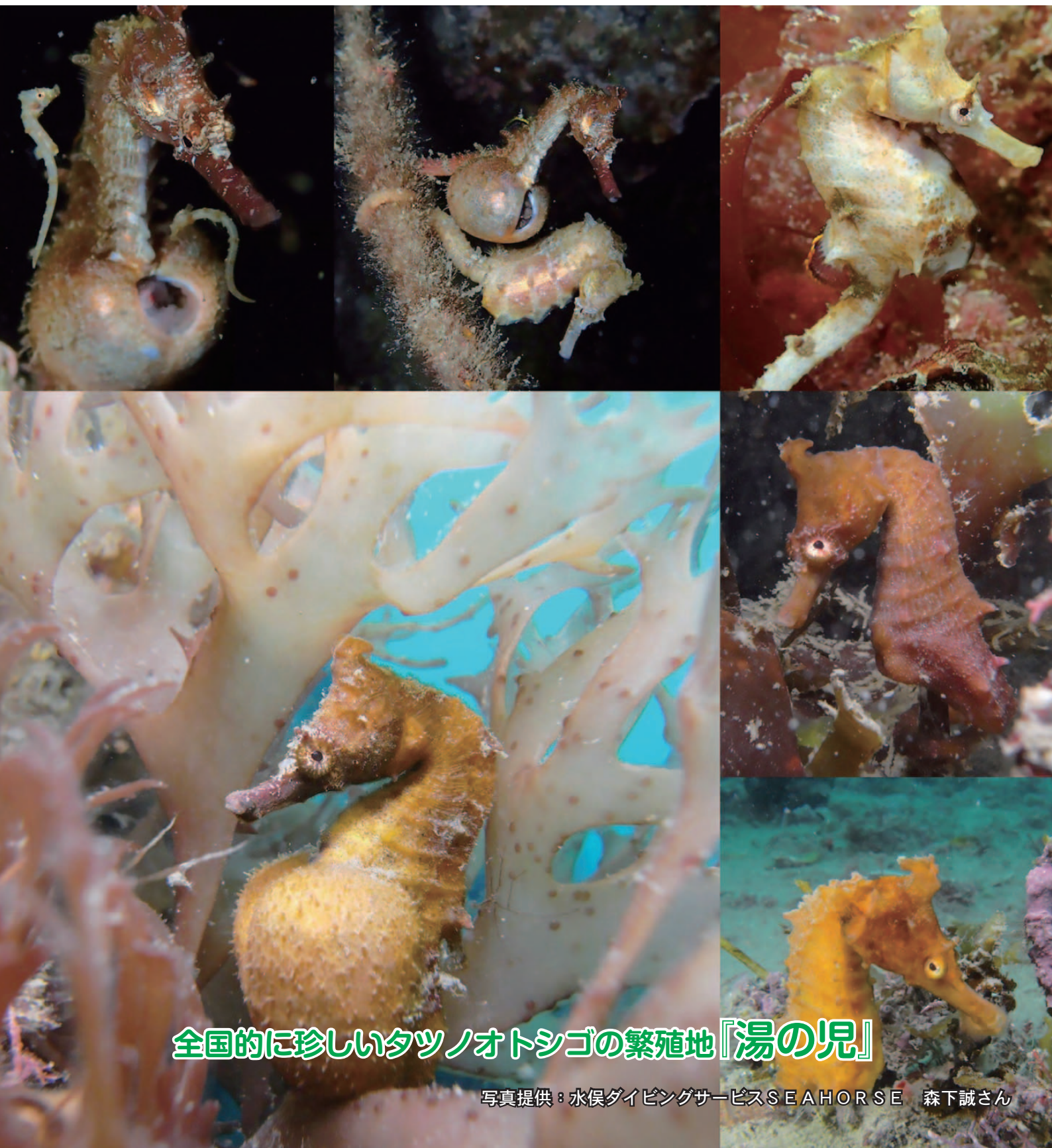
編集 みなまた市議会  
だより編集委員会

発行 水俣市議会  
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.minamata.lg.jp](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



全国的に珍しいタツノオトシゴの繁殖地『湯の児』

写真提供：水俣ダイビングサービスSEAHORSE 森下誠さん

# 6月定例会の報告

## 可決された補正予算・条例など

【平成28年度会計別補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	220,866	15,644,921
国民健康保険	11,531	4,917,219
後期高齢者医療	▲6,425	382,777
介護保険	1,679	3,359,507
公共下水道	▲2,311	1,242,351
水道事業（収益的支出）	2,110	359,303

### 《現行の条例改正》

●水俣市税条例等の一部を改正する条例の制定について  
軽自動車税等の制度を見直した

●水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
国民健康保険税の低所得世帯への軽減措置の拡充等を行った

●水俣市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について  
牧ノ内団地2号棟の完成によって供用開始となったため、住宅戸数等を見直した

●水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

右の2条例は関係法律や関係省令の施行に伴い条例を見直した

【平成27年度補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	▲74,488	16,127,338

※年度末における地方債発行額の確定により補正するもの

### 水俣市選挙管理委員会及び補充員当選者（敬称略）

委員	よしむらほるよし 吉村明賢（月浦）	補充員	いのうえしんじ 井上信二（牧ノ内）
	さえきむねお 佐伯宗雄（白浜町）		まつやまかつゆき 松山勝征（長野町）
	まつだよしまさ 松田喜正（旭町）		いちきとしあき 市来敏明（丸島町）
	おおいしけんいち 大石健一（陣内）		ひらたともし 平田智士（大園町）

任期：平成28年6月25日～平成32年6月24日

# 平成28年度 補正予算の主なもの

## ○被災者宿泊費助成事業業務委託料

3 2 5 万円

熊本地震被災者が水俣の宿泊施設を利用する際に、大人（中学生以上）3,000円・小人（小学生以下）2,000円を助成するものです。これまで延べ50名の方が利用されました。

## ○災害見舞金

1, 0 1 9 万円

熊本地震被災者の支援として、避難者の住居等を含めた生活支援金、避難世帯の小・中学生に対しては就学支援金が支給されます。

## ○構造点検業務委託料

5 0 3 万円

熊本地震による市役所庁舎や市営住宅を含む公共施設24カ所の点検費です。

## ○庁舎機能移転設計業務委託料

3 6 5 万円

もやい館前の文化会館駐車場へ移転するための設計費です。

## ○公園整備基本設計業務委託料

3 5 1 万円

湯の鶴地区において元旅館跡を公園化するための設計費です。

## ○宿泊費助成事業業務委託料

1, 5 5 0 万円

熊本地震により、4月と5月の宿泊キャンセルが4,000名超になったことから、観光客を再度誘致する事業を進めます。

## ○コミュニティ助成事業助成金

3 5 0 万円

8区及び17区の自主防災組織を育成するために活用されます。

## ○災害用備蓄用品

6 0 5 万円

飲食料品、生活用品等の備蓄品の購入費です。今後も計画的に備蓄品を充足する予定です。

## ○仮庁舎プレハブリース料他

8, 9 3 7 万円

庁舎の移転に伴う平成28年度分のプレハブリース料のほか、ネットワーク構築業務委託料やネットフェンス設置工事等が含まれます。

## ○農林水産施設災害復旧費

2 4 3 万円

4月21日の豪雨及び6月19日からの梅雨前線豪雨に伴う農地、農業用施設、林道施設の復旧費です。

## ○公共土木施設災害復旧費

3, 9 3 4 万円

熊本地震及び5月と6月の豪雨に伴う道路、河川の復旧費です。

## ○各小中学校施設構造点検業務委託料

1 8 3 万円

熊本地震による各小中学校（旧三中除く）の点検費です。

## ○各小中学校施設修繕料

1 7 8 万円

熊本地震に伴う市内4校分の修繕費です。

## ○煙突強度検査委託料

1 0 0 万円

水俣市環境クリーンセンター設備の検査費です。

## ○被災者支援に関する入居受け入れ準備費用

9 2 万円

熊本地震で被災された方の入居受け入れのための施設修繕や清掃費です。

## ○水俣病公式確認60年事業補助金

6 3 8 万円

当初予算2,000万円と合わせて、市内9団体の事業に対して補助するものです。

# 議案の審議結果

## 賛否の分かれた議案

陳情 請願	会派 議員名	真志会				政進クラブ			無限21			日本 共産党		自民党	公明党	政 友 会	水 進 会	結 果
		高 岡 利 治	谷 口 明 弘	塩 崎 達 朗	桑 原 一 知	福 田 齊	中 村 幸 治	田 口 憲 雄	谷 口 眞 次	藤 本 寿 子	田 中 睦	野 中 重 男	高 岡 朱 美	松 本 和 幸	牧 下 恭 之	岩 阪 雅 文	小 路 貴 紀	
陳第4号 水俣湾埋め立て地八幡残渣プールに対し早急に適正な対策を講じる事を求める陳情について		×	×	×	×	議長	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	不採択
		<p><b>賛成：</b>水質調査方法の適否が不明瞭で市道部分の埋め立て内容物は未調査だ。過去に高濃度の水銀が検出された事実を踏まえれば安全と判断するのは早計。地震による護岸崩壊を憂慮し国に早急な対策を求めることは理解できる。</p> <p><b>反対：</b>水俣湾埋立地と八幡プールは、県と市が定期的に水質調査を行い、適正に管理されており、現状では、異常は認められていない。特に水俣湾埋立地は「エコパーク水俣」に生まれ変わり、子ども達から高齢者までスポーツ等を通じて交流を深める場所として、市民にとって重要な拠点と考える。この大切な場所を守るため、現在の適正な管理が継続的に行われているかを注視し、チェックしていく事が重要である。</p>																
請第1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願について		×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	不採択
		<p><b>賛成：</b>TPPは、多国籍企業が参加国の市場に参入し、大きな利益を上げるしくみになっている。交渉が秘密裏に行われ、選挙前の約束である重要5品目の除外は守られていない。国内各種生産者や経済に多大な影響を与えることは必至である。</p> <p><b>反対：</b>新たな農林水産業の在り方に挑戦し、国内市場における問題や影響を単に嘆くのではなく、海外も含めて活路を見出そうとしている多くの人々がいる。アジア太平洋地域とともに安全と発展につなげていくためにも、批准に向けて用意周到に手続きを進めていくべきと考える。</p>																
陳第1号 原子力規制委員会に対して、 陳第2号 九州電力株式会社に対して、 川内原子力発電所免震重要棟建設問題についての対応を求める陳情について		×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	不採択
		<p><b>賛成：</b>免震棟の重要性は福島原発事故時の前東電社長が事故調査委員会でも報告している。原子力規制委員会、審査の前にはつくらなければ審査を通さないと言っていたほどだが、九州電力の耐震施設への設置変更届けに対し結論を出していない。住民のせめてもの安全に期するべきである。</p> <p><b>反対：</b>原発は将来的にはなくすべきだと思うが、本陳情の趣旨である免震棟の建設については、岩盤上に固着させる丈夫な耐震構造施設も免震構造と同じように新基準を満たすと聞いている。また免震棟は新規制基準の必須ではない。</p>																

《継続審査》 陳第3号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情について

### 議会運営委員を新たに1名選任

塩崎達朗議員（旧：蘇心会）と、桑原一知議員（旧：新緑会）が真志会（2→4名）として活動することになり、それに伴い塩崎達朗議員を議会運営委員に選任（4→5名）しました。

## 庁舎建替等対策特別委員会を設置

これからの問題や課題に対して、議会は積極的に関わっていきます。

正副委員長	委 員			
(委員長) 高岡利治	小路貴紀	谷口明弘	田口憲雄	藤本寿子
(副委員長) 松本和幸	中村幸治	谷口眞次	野中重男	

### 《委員会の活動報告》

6月23日 特別委員会設置

6月27日 政府へ提出する意見書素案の協議

6月30日 水俣市と同様に庁舎等が被災した自治体の動向調査の必要を確認  
国・県及び関係先に対する要望活動の協議

《意見書》 平成28年度第2回定例会（6月議会）本会議において全会一致で承認し、下記のとおり政府に意見書を提出しました。

### 行政庁舎再建等についての国庫補助制度の創設を求める意見書

平成28年熊本地震は、4月14日の前震と続く同16日の本震の二度の激震により、多くの尊い人命を奪い、地域住民の生活基盤や安寧な日常生活を奪い、甚大な被害をもたらしました。そのような中、本市においては庁舎機能の移転を余儀なくされ、同様に熊本県内各市町村でも行政庁舎等の施設、設備が甚大な被害を受けています。

今回の地震により、本市及び熊本県内各市町村の行政庁舎等は、あらゆる災害時に地域防災の要として機能し、人命救助や避難者支援など、防災対策の司令塔としての役割を果たさなければならないことが、改めて明らかとなりました。そのためには、庁舎等は単なる復旧ではなく、地域にとって真に必要な防災拠点機能を併せ持った、災害に強いものとする必要があります。

現行制度上、行政庁舎等の再建については、機能強化等を含め補助制度がないため、地方単独事業として実施する必要があります。しかし、特に本市のような小規模自治体では、財政基盤が弱く、災害に強い復旧、復興を進める上で大きな障壁となっています。

これらのことから、国におかれては、行政庁舎等の再建について、東日本大震災時の支援も踏まえ、躊躇なく災害復旧と防災機能の強化に取り組めるよう、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望します。

#### 記

- 1 行政庁舎再建等において、応急工事や調査、仮設庁舎の建設等も含めた国庫補助制度を創設すること。
- 2 あらゆる災害において防災拠点機能を発揮できるよう、行政庁舎等の耐震化を含む拠点機能の充実等に要する費用について、国庫補助制度を創設すること。

# 常任委員会の報告

\*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

## 総務産業

### ●南九州西回り自動車道の袋インター取り付け関連道路改良事業について

**質疑**—用地買収が進まなかった理由と今後の見通しはどうなっているのか

**答弁**—インター取り付けの交差点協議に期間を要し着手できなかった。今年度から着手する。

### ●ふるさと納税について

**質疑**—業者に手数料を支払って宣伝や商品の発送を行う仕組みでなく、地元で直接行い、市と生産者に少しでも有利となる仕組みにできないか

**答弁**—理想的と思うが、ノウハウや宣伝効果から業者に委託している。宣伝を業者にお願ひし、注文受付、商品発送を地元で行う分業の仕組みも考えられるが、現状はノウハウの蓄積がなく、そこまで行き着いていない。

### ●災害用備品の内容について

**質疑**—災害の備蓄用品はどのようなものがあるのか。

**答弁**—500人分の食料、簡易トイレ、毛布、ミルク用品、生理用品等である。

**質疑**—防災士や気象予報士の資格所持者を市役所に常時配置することで、防災のノウハウ、自主防災組織への指導、助言等を促し市全体の意識向上が図られると思うがいかがか。

**答弁**—出水市でモデル事業が行われており、その活用を含め検討したい。

### ●庁舎移転について

**質疑**—移転に伴うプレハブリースの規模、今年度のリース期間、移転候補先である文化会館駐車場は今後いつまで利用できるのか

**答弁**—規模は3,000㎡の2階建て、今年度リース期間は5カ月分。10月までにプレハブの建設が完了し11月から移転できると想定している。駐車場の利用は今年7月いっぱいとは可能と思われる。

### ●平成28年度水道事業特別会計補正予算（第1号）

**質疑**—平成28年度予算の特別損失の内容は

**答弁**—平成28年1月の寒波時の水道管破裂による漏れ水分は、水道料金の減免が可能であり、市報等で案内してきたが、現時点で未申請、その後の還付金である。今後も申請の呼びかけを行う。

## 厚生文教

専決処分<sup>の</sup>報告及び承認2件、条例の改正2件、補正予算4件、陳情2件

### ●専決処分 議第49号 平成27年度水俣市一般会計補正予算第10号中付託分

**質疑**—台風の影響等で総合体育館が被災。付近への影響はあったか。

**答弁**—付近の住宅のガレージの一部が破損した。今後、点検や修繕方法について、検討していきたい。

### ●議第53号 水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**質疑**—事業所等において、マイナス面はないか。

**答弁**—特に不都合等はない。

### ○議第54号 平成28年度水俣市一般会計補正予算第3号中付託分について

**質疑**—空き家バンク登録物件調査協力謝金の内容はどうか。

**答弁**—空き家バンクの事前調査として、不動産関係の団体に依頼するが、1件あたり4千円の謝金費用を計画している。

### ○陳第4号 水俣湾埋立地、八幡<sup>さんさ</sup>残渣プールに対し早急に適切な対策を講じる事を求める陳情について

(反対)

熊本県が設置している水俣湾公害防止事業埋立地護岸等維持管理委員会において、現状では、埋立地の異常は認められていない。八幡プールにおいても水俣市や熊本県が、定期的かつ継続的に水質調査を実施しており、周辺環境への影響等もないことが確認されている。そのため、現時点では、適正な管理が行われていると判断される。

(賛成)

現在、水俣市や熊本県が実施している水質調査は、調査の仕方自体に疑問がある。未実施である土壌調査についても、調査、検討の余地がある。そのため、現時点では、適正な管理が行われているとはいえない。

# あなたの声を市政に

## 一般質問

6月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

水俣市は1人70分以内で、1テーマにつき3回まで質問できます。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁の一部を掲載しています。

## 一般質問席

### ●高岡 利治

1. 熊本地震
2. 市役所の庁舎機能の移転問題
3. 庁舎機能移転推進室設置及び6月の人事異動

### ●田口 憲雄

1. 市役所庁舎
2. 経済基盤
3. 水俣高校への具体的支援

### ●藤本 寿子

1. 水俣川河口臨海部振興構想事業
2. 脱原発を指針とし次世代エネルギー事業を推進する取り組み
3. 地域の野良猫の対策

### ●高岡 朱美

1. 熊本地震に学ぶ減災対策
2. 病児・病後時保育実施計画

### ●野中 重男

1. 熊本地震の教訓から今後予想される日奈久断層の地震への備え
2. 水俣川河口臨海部の開発
3. 水俣市庁舎移転と建替え

### ●塩崎 達朗

1. 熊本地震での水俣市の対応
2. 庁舎建替え問題
3. 移住定住の促進
4. 高校生の地元就職状況

### ●谷口 明弘

1. 市役所の庁舎機能移転
2. 新庁舎建設
3. 熊本地震に関する本市の対応

### ●小路 貴紀

1. 平成28年熊本地震
2. 市長ブログ
3. 初恋のまちづくり

# 庁舎機能移転と、庁舎建替問題は 喫緊の課題、早急に着手したい



高岡 利治 議員

## 市役所の庁舎機能 移転問題について

**問** 市役所の庁舎移転の話が出ているが、現状の構造的問題はどのようなになっているか

**答** 本庁舎は昭和35年に建設され、既に56年が経過しており、平成21年に実施した耐震診断では、建物の耐震性を表す値が公共施設に必要とされる値を大きく下回っている。震度6以上の地震が発生すると、倒壊または崩壊する危険性が高く、早急な対策が求められる。



**問** 移転するにあたり、いつまでに、どこに移転するのか、また予算はどのくらいかかるのか

**答** 移転時期については、議会の承認が得られれば早速準備に取り掛かり、プレハブの仮庁舎を建て、本年秋頃から移転を開始し、遅くとも来年1月までには移転作業を完了したいと考える。

場所については、緊急性、利用者の利便性、経費等の面から総合的に判断し、水俣市文化会館駐車場にしたいと考えている。

予算については、電算移転費が約5千万円、プレハブの5年間リース料が約4億3千万円、その他に電話の移設経費、引っ越し費用等が考えられる。

**問** 移転問題も含め、以前から議会でも取り上げていた庁舎建替に関して、どのように考えているか

**答** 市役所庁舎の老朽化、耐震性の問題は、かねてより懸案事項となっていた。しかし、今回の熊本地震の発生状況、被災自治体の様子を目の当たりにすると、庁舎の建替は喫緊の課題であり、今回の機能移転が終了次第、早急に着手したい。



**問** 文化会館駐車場にプレハブを建てた場合、現在の庁舎機能がすべて収まるのか

**答** 現在検討中であるが、教育委員会の棟はそのまま利用したい。もやい館の一部も使用できればと思う。

**問** 庁舎機能移転終了後、建替に関しても早急に着手したいとのことだが、着手から完成までにどのくらいの期間を想定しているのか

**答** 建替着手から完成まで、おおよそ5年から6年位を想定している。



**問** 庁舎機能移転、引っ越しから、庁舎建替に関して、建設工事等は地域振興も含めて地場企業の活用を優先すべきと思うがどうか。

**答** これから工事や引っ越し等が出てくるので、地元業者を使うところは使っていきたい。

その他、  
○熊本地震について  
○庁舎機能移転推進室設置及び6月の人事異動について質問しました。





田口 憲雄 議員

# 人口維持のため、経済基盤の制度整備が急務

## 庁舎機能移転と庁舎建替について

- 問 国から財政支援は現時点ではないが、県と一体となり国へ働きかける。
- 答 現在地を含め再検討。
- 問 市庁舎の建替場所は
- 答 基本構想から工事、5年から6年かかる。費用として精査していないが35億から40億円程度になる。
- 問 建替の積立金は
- 答 基金として8億8千万円ある。



移転予定の本庁舎と水道局棟

- 問 公共施設を入れた複合施設にされるつもりはないか
- 答 市民の利便性を考えると非常に効率的。場所の確保等を含め、検討していく。
- 問 民間活用のPFI方式で対応しないか
- 答 他市町村を参考に、従来方式と民間活用のPFI方式を比較検討していく。

## 経済基盤について

- 問 誘致活動の状況と課題は
- 答 事業用地の不足等の理由から進んでいない。他自治体を見習い、企業が利用しやすい制度に見直していく。
- 問 補助金の見直し状況は
- 答 制度の見直し、増額等検討。

- 問 人材確保と人材育成のため、地場企業に人材育成補助金等を考えないか
- 答 能力向上等を支援し、効率的な補助制度を考える。
- 問 人口が減少し市場が縮小している。商圏拡大の支援制度を検討すべきと思うが、どうか
- 答 地域外での営業や販路拡大に対する支援等、見直しや拡充も検討する。



その他、水俣高校への具体的支援について質問しました。



企業が集まる産業団地

# 脱原発を指針に 次世代エネルギー事業推進を



藤本 寿子 議員

## 水俣川河口臨 海部振興事業

- 問 地震後、八幡浦の調査を行ったか
- 答 老朽化調査時から2カ所の変状を確認
- 問 現在の進捗状況は
- 答 水俣川河口臨海道路の整備を目的とするため、老朽化した護岸等の点検調査、ボーリング調査を実施、現在は、環境影響調査の実施を予定している。
- 問 約5haの埋立てによる海域の環境変化をどのように捉えるか
- 答 環境影響調査の実施をする。有識者に助言をもらう。

- 問 市民は八幡浦の安全性、埋立てによる海域への環境汚染を心配している。市民への説明をする予定はないか
- 答 今後、市民への説明会をしたいと考えている。



市庁舎屋上の太陽光パネル

## 水俣市の電力会社の設立を

- 問 川内原子力発電所周辺の地震、火山の活動をどう思うか
- 答 基準地震動の様子や火山の様子をみる。
- 問 水俣市の再生可能エネルギー等による電力はどれ位あるのか
- 答 太陽光発電等で約7メガワットある。

- 問 既に電力自由化を機に「電力売買事業会社」を設立する自治体がある。これについてどう思うか
- 答 平成23年度の地域経済循環分析においてエネルギー産業関連の市外流出額は、約85億円。本市もエネルギーの地産地消は重要と考える。
- 問 市民や地域の集会の中で原発事故が起きた場合の避難計画や安定ヨウ素剤等の配布についてどうなっているか、心配の声があるか
- 答 今後、安定ヨウ素剤配布も含め検討する。

## 野良猫を減らすための制度づくりを

- 問 保健所が捕獲しなくなり、市民から苦情があるか
- 答 特に苦情はないと聞いている。
- 問 今年に入り、水光社前等に捨て猫があり保護して育てるグループがあるが、市は、野良猫を増やさないように取り組んでいるグループの活動を承知しているか
- 答 犬や猫の里親や一時預かりの募集、不妊手術を定期的に行う活動をされている。
- 問 先進地では、野良猫を増やさないため、地域での「共生」を進める制度をつくり、活動する団体には、補助金を出すなどしているが、このような事例についてどう思うか
- 答 今の所、考えていない。





高岡 朱美 議員

## 熊本地震から学んで減災対策を

【問】 新耐震基準を満たしていない家屋で多くの死者が出ているが、水俣の耐震化率はどうか  
なっているか

【答】 公共施設96・7%  
住宅63・9%、特定建築物74%（平成23年現在）であり、計画では90%を目指している。補助制度を広報やHPで知らせ、推進を図る。

【問】 地域避難所15カ所がまだ耐震化されていない。大規模な被災に備え、すべてが機能するように市が積極的に関与し進めてほしい

【答】 財源の問題があり、非常に厳しい。



避難所として開放された熊本学園大学ホール

【問】 災害時に支援を必要とする人の数は。またどのように支援する計画か

【答】 対象は654人でその名簿がすでにできている。個別の支援計画は今後進めていく。

【問】 地域防災組織と連携できれば大きく進むはずだ。また提携福祉施設を増やすと共に地域避難所の施設整備を進め、軽度の障がい者の受け入れ場所を増やしてはどうか

【答】 まちかど健康塾を実施する過程でスロープやトイレ改修などは

進めてきた。提携施設は増やしていきたい。

【問】 地震で原発事故が起きた場合、今の避難計画は現実的と思うか

【答】 屋内退避や車での避難ができなくなる可能性があり見直しが必要と考えている。

【問】 見直しにはどれくらいかかるか

【答】 国、県の計画変更に合わせてできるだけ早くやっていきたい。

【問】 それでは遅い。いつ南西方向で地震が起きるかわからない中で、避難方法がない現実に直面している。原発を

止めるよう求めるべきではないのか。同時に「脱原発をめざす首長会議」に入って、共同の力で原発事故の恐怖のない社会づくりを進めてほしい

## 病児病後児保育について

【問】 病児病後児保育実施スケジュールはどうなっているか

【答】 7月に公募を行い今年度中に開始する。

【問】 困ったときに駆け込む福祉事業なので、行政がしっかりバックアップしてほしい。同

【答】 事故への不安の声があることを伝え、しっかり対応するよう求めた。停止を申し入れるつもりはない。議会の承認が得られるなら会議に入ることはやぶさかではない。

時に子育てに理解のある職場づくりを進めなければ少子化問題は解決しない。何か計画はあるか

【答】 出前講座や啓蒙活動等やってきた。今後もやっていきたい。



# 市が譲り受けた八幡プール群の道路敷は県に詳細資料の提出を問い合わせ中である



野中 重男 議員

## 八幡プール群について

**問** 熊本県は八幡プール群についてJNCの安定型産業廃棄物最終処分場として許可を出しているがどうか。また、入れられているものは何か。水俣市が八幡プール群の一部を譲り受けたのはいつか。一方水俣市は平成15年前後に安定型産業廃棄物最終処分場の許可を県から得ているか

**答** 昭和36年に県から河口付近の公有水面埋め立てを免許される。当時の法律には最終処分場という概念はなく、52年に最終処分に係る技術基準の省令が施行され、安定型、管理型等の構造規程が定められた。現在JNCの敷地内の安定型最終処分場は構造規程にしたがって整備されたものと思われるが、経緯は現在熊本県に確認中である。次に、入れられているものは県への報告書ではガレキとなっている。また、産業廃棄物処理施設に対する許可には更新はない。水俣市が八幡プール群の沿岸道路を譲り受けたのは平成14年12月である。なお、市が譲り受けた道路部分は安定型産業廃棄物最終処分場ではなく水俣市には産業廃棄物最終処分場の設置の許可は不要と県から回答があった。

**問** 県が道路敷きは安定型最終処分場ではないと主張するならば県から回答をもらうべきだ

**答** 詳細な資料は県にお尋ねしているがまだ返事はきていない。

**問** この八幡プール群へのメチル水銀の投棄は水俣市以北への水俣病拡大の原因として最高裁判所でも刑事判決



**問** 県が道路敷きは安定型最終処分場ではないと主張するならば、その証拠となる許可関係の資料を見せていただきたい。水俣市は詳細を県から回答いただくべきである。どうするか

**答** 詳細な資料は県にお尋ねしているがまだ返事はきていない。

**問** この八幡プール群へのメチル水銀の投棄は水俣市以北への水俣病拡大の原因として最高裁判所でも刑事判決

**答** 詳細な資料は県にお尋ねしているがまだ返事はきていない。

**問** この八幡プール群へのメチル水銀の投棄は水俣市以北への水俣病拡大の原因として最高裁判所でも刑事判決

## 県が道路敷きは安定型最終処分場ではないと主張するならば県から回答をもらうべきだ

が決定している。水俣市が産廃最終処分場の許可を得ないまま八幡プール群の周辺道路の安定型処分場を譲り受けたのなら廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反である。現在それが確定していない段階では臨海部の開発は進められないのではないか

**答** 市民の不安もあり進めていきたい。調査は続ける。

その他、①今後予想される日奈久断層の地震への備え ②水俣市庁舎移転と建替えについて質問しました。



塩崎 達朗 議員

# 防災・減災と 危機管理の強化を

## 熊本地震での 水俣市の対応 について

**問** 地震後の被災者受け入れ体制としてどのような事をしたのか

**答** 市が管理する避難所やカヌー艇庫への受け入れ準備、市営住宅の提供等を行った。また被災児童生徒16人の受け入れを行い受け入れ情報は市のホームページに掲載し報道機関に情報提供を行った。

**問** 長期的な避難になったとき、市はどのような施設を避難所として考えているか

**答** 基本的には市が管理する避難所を中心に開設するが、地域が管理する避難所もあり災害状況に適した避難所を選定する必要があると考えている。

## 自主防災組織 と消防団の連 携は

**問** 今回の地震で自主防災組織と消防団は市と連携してどのような動きをしたか

**答** 自主防災組織へは代表者へ連絡を行い、地域の状況把握と必要があれば地域管理の避難所開設をお願いした。消防団については災害対策本部会議に消防団長が出席され、各消防団へ協議内容や対応など伝達いただいた。

**問** 4月16日の本震が発生したとき、市は全員登庁を発令したが全



## 員登庁したのか

**答** 約8割の職員が登庁または避難所開設を行った。市外居住で登庁できなかった職員に対しては、防災危機管理上、市内に居住してもらう事が望ましいと認識しており、職員採用時に市内居住をお願いしている。

## 福祉避難所を開設したのか

**問** 福祉避難所は開設されたのか

**答** 本市の福祉避難所

## 庁舎建替問題について

**問** どのような手順で進めて行くのか

**答** 早急に安全な仮庁舎に庁舎機能を移転し、「水俣市庁舎建替庁内

としてもやい館を設定している。今回の地震

では通常の避難所として開設した。

## 移住定住促進は

**問** 地域おこし協力隊員の現況はどうか

**答** 現時点では応募はない状況であるが、募集の条件を検討し内容を緩和する等、様々な手段を使って募集をしたところ、数件の問い合わせを受けた。

企業への就職率が前年度と比べ26%から33%へ向上している。

**問** 地場企業からの「おしごと説明会」の現状と成果はどうか

**答** 市が水俣高校と連携して平成27年度から実施し、昨年度は地場



おしごと説明会の様子

# 新庁舎建替の 財源として国の支援を



谷口 明弘 議員

## 庁舎の機能移 転による駐車 場の確保は

- ④ 現在の市役所庁舎はどのような状態か
- ⑤ 震度6強の地震で倒壊または崩壊の恐れがある危険な状態。
- ④ 移転場所、移転に掛かる費用、仮庁舎での業務開始の時期、仮庁舎での運用期間の見通しはどうか
- ⑤ もやい館横の駐車場にプレハブの仮庁舎を建てる計画。現時点で算出できる費用は約4億8千万円。他にも



諸々の費用が予想される。10月には移転を開始し早ければ来年1月からの運用開始を目指す。運用期間は5〜6年程度と見込んでいる。

④ もやい館横駐車場は駐車場が少なく今でも問題を抱えているが駐車場の確保について具体策はあるのか

⑤ 近隣の市有地を含め、できるだけ市民のご迷惑にならないよう最大限努力する。

## 新庁舎建設の 財源確保を

- ④ 新庁舎建設候補地はどこか。建設費の概算はいくらか。財源はどのように考えているか。市民の税負担は増えるのか
- ⑤ 現在地も含め、再度白紙の状態から検討する。建設費の概算は平成25年9月定例会では26億と答弁したが、震災復興やオリンピック関連施設の建設需要が増している影響で、35億から40億程度になるのではな

いかと考えている。財源は、通常、交付税措置はないので、市債、基金、一般財源を充てなければならぬが、熊本地震に対する財源支援を熊本県が国に要望している状況。市民の税負担は増えないが、借金返済が発生するので市の財政運営は厳しくなる。

## 危機管理体制 の強化を

- ④ 平成20年頃、窒素から八幡社宅跡にPFI方式で市役所庁舎を建てないかと提案がなされた。当時の宮本市長がその提案を受け入れていれば、このような事態は避けられたと思うが現執行部は、どう考えるか
- ⑤ 当時の執行部が判断したことなので特にコメントしようがない。
- ④ 国からの財政支援を受けるためには、政権与党である自民・公明党とのパイプが重要であると思うが、そういう思いで、松村参議院議員の選挙対策本部立ち上げ式に参加したのか
- ⑤ 市長として案内があれば、時間が空いている限り、様々な会合に参加している。
- ④ 本市の危機管理体制の強化のために、他紙で導入が進んでいる防災士の資格をもった退職自衛官を危機管理官あるいは防災対策官として採用してはどうか
- ⑤ 前向きに検討したいと思う。
- ④ 宝川内の土石流災害で全国から多くの支援を受けた水俣市なのに、被災地支援に関して、「要請があれば検討する」という姿勢では残念と思う市民が多い。もっと、被災地に寄り添える積極的な支援ができないのか
- ⑤ 市民にそのような声があるということはしっかりと受け止めた



小路 貴紀 議員

# 熊本地震の被災地・被災者に心寄り添える継続的な支援を

## 熊本地震における一連の諸対応に関する評価と課題は

問 空き家バンクが機能しなかった理由はなにか

答 県の包括協定が当初予定からずれ込むとの話があり、4月の運用開始に至っていない状況である。

問 被災者支援として、湯の鶴温泉保健センターほたるの湯を無料開放するよう申し入れたものの、一週間も要した原因はどのようなことだったのか

答 地震直後の複雑した状況もあり、無料開放が遅れ、一部の被災された方々へ御迷惑をかけ申し訳なく思っている。6月14日までに延べ149人の被災者が利用されており、支援継続として当分の間実施する。

問 気象庁は本年6月から自然災害が多い時期に気象予報士を自治体に派遣するモデル事業を始めた。今後、防災力向上のためにも是非活用すべきと思うかどうか

答 本市は平成15年の災害を受け、民間気象会社ウェザーニューズと契約し、常時、気象情報の提供を受けている。



## 市長ブログは公私の区別を

問 公的な市ホームページに私的な市長ブログがリンクされているが、公私の区別はついていないと思うか

答 他の首長も同様に行っている問題ない。  
問 4月17日に「さすがに3日連続徹夜で疲れすぎます！」とブログ配信されたが、後日削除されていたが、どういうことだったのか

答 都度、誤字脱字も含め修正しており、その中の一つである。  
問 土石流災害時に多方面から多くの支援を受けた経験を知っている市民からは批判の声があった。被災自治体や被災者に対して配慮

## 初恋のまちづくりについて

問 関連事業がスタートして以来、投じられた費用はいくらか

答 平成27年度の実績は、初恋通り商店街にシンボルとなるブロンズ像を設置する等、1,355万6千円。平成28年度は2,800万円を計上している。

問 初恋ポッドキャスト3部作の費用は。また市としてどのように評価しているか

答 事業費は515万円。各メディアに多く取り上げられ、初恋の

に欠けていたのではなにかと思うかどうか  
答 どれほどの市民がブログを見たかわからないが、不快な思いをされた方々に対しては遺憾であり、申し訳なく思っている。

まち＝水俣のイメージづくりで大いに貢献したと思う。



## 議会の主な動き (H28. 4. 1～6.30)



- 4月8日 「春の全国交通安全運動」啓発活動
- 4月12日 第260回熊本県市議会議長会(人吉市)
- 4月30日 水俣環境アカデミアオープニング式典
- 5月10日 各派代表者会議(熊本地震に伴う支援について)
- 5月20日 各派代表者会議(議会運営委員の選任、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙等について)
- 5月24日 総務産業常任委員会(市営住宅牧ノ内団地2号棟建設工事 現場見学会)
- 6月5日 第44回水俣市・葦北郡各町対抗陸上競技大会(エコパーク水俣)
- 6月10日 平成28年第2回水俣市議会定例会開会
- 6月21日～23日 一般質問、質疑
- 6月23日 庁舎建替等対策特別委員会の設置(委員長、副委員長の選定)
- 6月24日 各常任委員会
- 6月27日 庁舎建替等対策特別委員会(国の財政支援を求める意見書について)
- 6月30日 平成28年第2回水俣市議会定例会閉会  
庁舎建替等対策特別委員会(国・県への陳情について)



議会だより編集委員会が、新しいメンバー構成になりました。9人で力を合わせ、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めます。

### 市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧いただけます！

水俣市 議会  検索

<p><b>Q. 市議会の様子を見てみたいけど？</b> A. 当日の中継や過去の議会も見れます！</p> <p>水俣市議会ホームページから <b>「議会インターネット中継」</b> をクリック！</p> 	<p><b>Q. 質問や答弁の内容を調べたいんだけど？</b> A. 質問や答弁のキーワードで検索できます！</p> <p>水俣市議会ホームページから <b>「水俣市議会会議録検索」</b> をクリック！</p> 
--	--

インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局(TEL61-1661)までお問い合わせください

### <本号の表紙写真>

湯の児はタツノオトシゴが繁殖を行う全国的に非常に珍しい場所です。現在、湯の児で繁殖の最盛期を迎えているこのタツノオトシゴは子宝、安産、夫婦円満を象徴する魚で、なんとオスが卵を抱えて、出産するというイクメン魚です。今後繁殖の聖地としていくには、生態の観察・保護、そして海中を含めた自然環境の保全が必要です。



### 編集後記

熊本地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、いまだに自由な避難生活を余儀なくされている被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。発災から3カ月経った今も、依然として余震が収まらず、不安な生活が続いています。ふるさと熊本復興に向け、水俣市議会としても全力で取り組んで参りたいと思います。議会だより編集委員会も今回から新たなメンバーが加わり新体制で編集作業に当たりました。編集委員のメンバーは皆やる気に満ちています。市民のみなさんに知っていただきたい情報を、わかりやすく掲載できるよう知恵を絞って紙面を上げました。きつと皆さんのお役に立つ情報があると思いますので、隅から隅までご覧いただければ幸いです。

- 編集委員(委員は50音順)
- 委員長 谷口 明弘
  - 副委員長 小川 貴紀
  - 委員 桑原 一知
  - 委員 高岡 朱美
  - 委員 田中 憲雄
  - 委員 田村 睦治
  - 委員 中本 幸子
  - 委員 藤本 純子
  - 委員 上田 純子
- 議会議務局職員

みなまた市議会だよりは再生紙を使用しています。

●お問い合わせ 水俣市議会事務局 〒867-8555 熊本県水俣市庫内1-1-1 TEL 0966-61-1661 FAX 0966-62-0987